



### 森と緑のパートナー

## 平成25年度 総代会開催

第13回養父市森林組合通常総代会が、平成25年8月31日土曜日、養父市ビバホールにて開催され、総代総数200名のうち157名（委任状出席を含む）の出席を得、来賓として、8名のご臨席を賜り、盛大な総代会となりました。

矢野尾副組合長の開会のことば、榎増男組合長の挨拶に続き、来賓の方々（但馬森林協議会会長・衆議院議員谷公一様、兵庫県議会議員藤田孝夫様、朝来農林振興事務所長太田雄一郎様、養父市長広瀬栄様）より、今後益々、地域林業の担い手としての活躍を期待しているとの激励と祝辞を賜りました。

続いて、本年度の議長には八鹿地域の藤原昭氏が選任され、提出議案の審議に入り、上程された全ての議案が原案通り承認されました。当年度は、林業情勢の厳しい年となり、多大な損失金が生じる結果となつてしまい、総代の皆様より、熱いご指導を賜りありがとうございました。



総代会風景

## 組合長挨拶

代表理事 組合長 榎 増 男

組合員の皆様には、平素より組合運営につきまして格別なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

組合の経営基盤は皆様ご存じの通り、大きく二本柱で構成されています。一つは請負事業、二つ目に組合員皆様の受託事業でございます。請負事業につきましては一般競争入札制度に移行され、受注したものの大変厳しい金額での受注で従来のような利幅の確保が困難な状況にあり、二つ目の受託事業においては昨年度より国の施策として、経営計画を柱とした補助金制度に改められ新たな林業施策がなされており、従来のような、切り捨て間伐等の施策が出来なくなり、搬出間伐だけでなく他の施策にも制限が生じ、補助金の見直し等従来の補助金受理が困難な状況下での1年間でございました。当初予定致しておりました搬出量は概ね達成したものの、市内全般において路網密度が低く搬出コストの圧縮に繋がらず又、市場及びチップ工場への入荷制限がかかり且つ、木材価格の下落と行った複合的な悪条件により、本年度は計画致しておりました利益の確保が困難であった為、従来より続けてまいりました出資配当は、本年度無配と云った結果で閉めることとなり、組合員皆様のご期待に沿えず誠に申し訳ございませんが、何卒その点ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

24年度の業績を踏まえ、次年度、受託事業においては「経営計画」及び「環境林整備事業」の複合的事業計画の構築を図る為、基盤整備、人材育成に努め請負事業関係では、効率的施策の推進を主として、経費節減は無論、市内二支所の在り方等併せて組合経営の合理化を図る所存でございます。

県下の森林組合も同様に厳しい状況下である中、役職員及び森林技術者三位一体となり組織改革、意識改革に取り組み「捲土重来」を図りますので、何卒組合員皆様と関係各位皆様のご支援ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

## 通常総代会提出議案

- 第1号議案** 平成24年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書の承認について  
**第2号議案** 平成24年度損失処理案の承認について  
**第3号議案** 平成25年度事業計画の設定承認について  
**第4号議案** 平成25年度借入金最高限度額の決定承認について  
**第5号議案** 一組合員に対する貸付金最高限度額の決定承認について  
**第6号議案** 平成25年度役員報酬額の決定承認について  
**第7号議案** 任期満了に伴う(理事・監事)の選任について  
**第8号議案** 役員退任慰労金の支給について  
**第9号議案** 余裕金の預入れ先金融機関の決定承認について  
**第10号議案** 役員報酬及び費用弁償に関する規程、規約の一部改正について  
**第11号議案** 附帯決議

1. 年度中途に於いて第3号議案のうち、一部変更を要するに至ったときは、理事会に一任する。
2. 行政庁等の指示により、この議決に修正、加除を要する場合は議決の趣旨に反しない範囲において、修正の権限を理事会に一任する。

平成24年度 損益計算書		
平成24年7月1日～平成25年6月30日まで (単位:円)		
科 目	金 額	
<b>I 事業総損益</b>		
1. 収 益	702,238,124	
2. 費 用	636,715,214	
事業総利益	65,522,910	
<b>II 事業管理費</b>	147,429,913	
事業利益	△ 81,907,003	
<b>III 事業外損益</b>	5,203,056	
経常利益	△ 76,703,947	
<b>IV 特別損益</b>	1,465,231	
税引前当期純損失	△ 75,238,716	
法人税・住民税及び事業税	438,045	
当期損失金	△ 75,676,761	
前期繰越剰余金	13,999,188	
任意積立金取崩額	13,880,000	
当期末処理損失金	△ 47,797,573	

平成24年度 損失処理案	
(単位:円)	
摘 要	金 額
<b>I 当期末処理損失金</b>	△ 47,797,573
当期損失金	△ 75,676,761
前期繰越剰余金	13,999,188
任意積立金取崩額	13,880,000
<b>II 損失金処理額</b>	
(1) 法定準備金取崩額	0
(2) 任意積立金取崩額	
① 損失補填積立金	47,797,573
② 施設拡張積立金	0
③ 森林整備促進事業積立金	0
(3) 出資配当金	0
<b>III 次期繰越損失金</b>	0

森林整備取扱高 (主な作業種)		
事業種目	件 数	数 量
鳥獣害防止施設	9	11,939m
新 植	8	28.8ha
下 刈	44	126.4ha
除 伐	16	92.82ha
間 伐	145	661.67ha
内搬出間伐	56	98.15ha
簡易土留め工	21	42.11ha
枝 打	14	70.41ha
広葉樹整備	12	21.84ha
管理歩道	15	16,250m
作業道新設	27	15,230m
木 柵 工	1	91m

平成25年度 損益計画	
平成25年7月1日～平成26年6月30日まで (単位:千円)	
科 目	金 額
<b>I 事業総損益</b>	
1. 収 益	847,299
2. 費 用	702,297
事業総利益	145,002
<b>II 事業管理費</b>	148,604
事業利益	△ 3,602
<b>III 事業外損益</b>	4,950
経常利益	1,348
<b>IV 特別損益</b>	360
税引前当期純利益	1,708
法人税・住民税及び事業税	683
当期剰余金	1,025
前期繰越剰余金	0
任意積立金取崩額	5,000
当期末処分剰余金	6,025

# 9月2日理事会にて新体制となりました

## 組合長挨拶



代表理事組合長  
榎 増 男

この度の総代会で選任を賜り、理事会にて組合長を重任させて頂くこととなりました。昨年度に於いては、多大な赤字決算となり、出資配当も出来なくなり深くお詫び申し上げます。

さて、本年度は、事務所増改築も完成し、事務の効率化を推進し、経費の節約は勿論、事業面に於いても受注から完成まで、徹底したコスト管理をして、組合員皆様のご期待に添えるよう取り組んで参りたいと考えています。

事業売上高が年々下落しています（※下記に年間売上高推移表）。今一度、役職員一体となって明るい職場づくりに励み、経営の建て直しを図るよう最善を尽くす所存でありますので、よろしくお願ひ申し上げます。

### ★新役員体制の決定

### 養父市森林組合 役員名簿

区分	労働災害防止委員会		広報委員会		役員氏名
	正	副	正	副	
代表理事 組合長					榎 増 男
副組合長	○				守本 國美
管理委員長	○				齋藤 清忠
副委員長	副				田村 力
委員			正		谷口 巖
委員			○		堀井 克夫
委員					中村 市衛
委員					高橋 眞生
業務委員長	○				中庭 保
副委員長	正				田淵 広次
委員			副		中島 啓介
委員			○		瀬原 達夫
委員					片山 四六
委員					奥田 健三
委員					木谷 作良
代表監事					山崎 誠
監事					沖田 義信
監事					大谷 忠雄
監事					片芝 正明

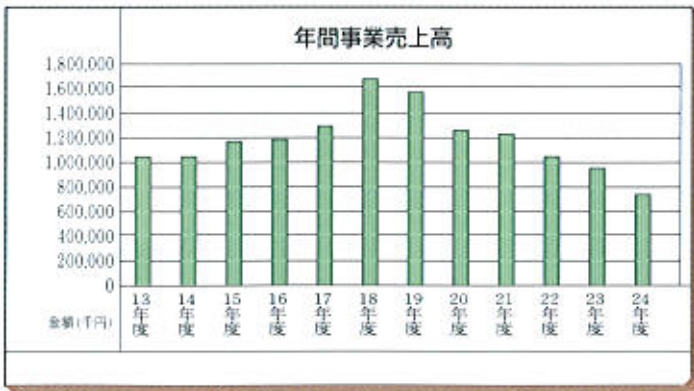
### ★職員の配置

(平成25年7月1日より)

### 区 分 職員氏名

- 参事兼管理課長
- 【管理課】
- 課長補佐
- 【業務課】
- 課長兼参事心得(統括)
- 課長
- 課長補佐
- 課長補佐
- 課長補佐
- 課長補佐兼管理係長

- 池田 広之
- 太田 垣美雪
- 岡本 陽子
- 西 垣 司
- 栃尾 享伸
- 足立 良忠
- 村上 典昭
- 和田 憲
- 松田 修一
- 正垣 政実
- 小柴 俊博
- 杉田 修三
- 吉井 輝和
- 余根 正弘
- 寺尾 裕孝
- 藤原 可苗
- 田村 浩幸
- 佐藤 裕介
- 小林 恵美
- 辻本 栄一



平成25年度

## 運営の基本方針

## 【総括】

東日本大震災により、我が国のエネルギー情勢が大きな転換期を迎えようとしています。化石エネルギーからバイオマスエネルギーへと、循環型社会に移行し安全なエネルギーを国民は期待しております。森林組合にとってバイオマスエネルギーへの移行は期待すべき循環型エネルギーであると共に、森林資源の利活用に大きく関与してまいります。

2年後平成27年度より開始するだろう、バイオマス発電の稼働により木材利用率向上に繋がるよう又、しいては林内の林地残材が減り環境状況の向上と、経済効果向上を図る為「森林経営計画」の樹立を柱に集落全体を中心とした、「コミュニティ林業」の計画を行い、組合員皆様の森林資源の有効活用の為に搬出コスト削減に路網開設、林業機械等の施設整備を行い、市内森林の経済効果向上に努めます。又、里山林整備においては緑税等の補助事業の地域への普及も行き、地域環境整備の向上に寄与します。で、組合員皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い致します。

## 本所事務所の増改築が完成しました。

養父市森林組合の本所1階事務所の増改築が完成しました。職員全員が職務出来る様に、また、外壁は木材を使用したログハウス風に、玄関は2重ドアを施し、薪ストーブを新たに設置しました。少しは森林組合らしさにイメージチェンジ出来たと思われま。



【木材を利用した新たなおもてなし】

## 養父市森林組合の概要

	H25.10.1現在
管内民有林面積	34,307ha
組合員数	3,778名
出資金	298,448千円
役員	理事16名 監事3名



【新たに増築された相談室】



【薪ストーブ設置】

## 新採用の紹介 (平成25年4月採用)

平成24年度に職員2名、森林技術者7名が退職しています。年齢構成及び、将来を見据えて、公募による採用試験の結果、4月1日より職員を3名(内1名は森林技術者より編入)、森林技術者1名、新たに採用しました。今後の活躍を期待します。

### 【職員】



○余根田 正弘 (40歳)

住所：養父市八鹿町米里

【抱負】 一日でも早く組合の戦力になれるよう、日々努力して行きたいと思っています。



○寺尾 裕孝 (32歳)

住所：朝来市和田山町弥生が丘

【抱負】 まだまだ全ての職務に経験がないので、迷惑をおかけすることが多いと思いますが、責任のある仕事を心がけますのでよろしくお願いします。



○田村 浩幸 (24歳)

住所：養父市八鹿町九鹿

【抱負】 山を知らない未熟者ではありますが、少しずつでも役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いします。

### 【森林技術者】



○柏原 勇騎 (29歳)

住所：豊岡市出石町荒木

【抱負】 山仕事はまったく未経験ですが、早く一人前になって頑張りたいです。



### 夏期安全衛生大会

平成25年7月10日、午前10時より、役員、従業員合同による安全衛生大会を開催しました。

本所にて平成25年度の安全標語の入選表彰、従業員の毎々の安全決意表明を行いました。

大会終了後、養父警察による交通安全指導講習が行われました。

今年度の年間標語は「習慣づけよう危険予知 油断と過信が事故を呼ぶ」

が決まりました。



### 現在の森林整備補助事業の状況について

昨年度は間伐等の保育事業が補助金の関係上困難でありましたが、現在では、従来通り、ほぼ管内全域で、伐り捨て間伐が負担金無しで、実施出来るようになりました。

間伐は約5年～10年サイクルで定期的を実施する必要があります。森林は生きています。人工的に密度調整をしなければ、何らかの障害が発生します。

定期的な手を加えることをお勧めいたします。

### 組合員の届出義務

森林組合定款では、組合員の氏名や住所・振込み金融機関の変更等の変更があった場合には、その旨を組合に届けなければならぬこととなっています。

出資証券の確認をお願いします。変更手続きが必要な場合は、組合までご連絡下さい。簡単な手続きで済みます。

## 委員会活動日誌

## (業務委員会)

25. 1.29

1. 今後の事業量について
2. 森林経営計画について

25. 5. 9

1. 今後の事業量について
2. 森林経営計画について
3. 木質繊維断熱材について

25. 8. 1

1. 平成25年度事業計画について
2. 平成25年度作業道開設事業計画について
3. 平成25年度搬出間伐事業計画について
4. 修補事業について

## (管理委員会)

25. 1.29

1. 12月末試算表について
2. 固定資産の処分について
3. 長期リース契約について
4. 理事と組合との事業契約締結について
5. 森林総研との分収造林契約一部変更について

25. 5. 9

1. 本所の事務所改築について
2. 資材棚の設置について
3. 木質繊維断熱材について

25. 8. 2

1. 森林総研との分収林契約について
2. 固定資産の取得及び処分について
3. 平成25年度労働福利費率の決定について
4. 規約規程の一部変更について
5. 役員報酬の一部返納について
6. 平成24年度計算関係書類の承認について
7. 平成25年度通常総代会の開催について
8. 平成25年度通常総代会提出議案の承認について
9. 平成25年度事業計画の設定承認について

## 理事会活動日誌

## (理事会)

25. 1.31

1. 固定資産の処分について
2. 長期リース契約について
3. 森林総研との分収林契約について
4. 理事と組合との事業契約締結について

25. 3.27

1. 長期リース契約について
2. 固定資産の処分について
3. 森林総研との分収林契約の変更について
4. 就業規則の一部改正について (高齢法の改正)

25. 5.10

1. 本所事務所改築について
2. 木質系繊維断熱材について

25. 8. 5

1. 森林総研との分収林契約について
2. 固定資産の取得及び処分について
3. 平成25年度労働福利費率の決定について
4. 規約規程の一部変更について
5. 役員報酬の一部返納について
6. 平成24年度計算関係書類の承認について
7. 平成25年度通常総代会の開催について
8. 平成25年度通常総代会提出議案の承認について
9. 平成25年度事業計画の設定承認について

25. 9. 2

1. 平成25年度理事報酬額の各人毎の金額決定について
2. 平成25年度役員報酬の支給方法について
3. 委員会の構成について
4. 各委員会の構成及び構成員について
5. 固定資産の取得及び処分について

## (監査会)

25. 1.30

○平成24年度中間定期監査

25. 6.29

○平成24年度棚卸監査

25. 7.31

○平成24年度決算監査

## 編集後記

国内の森林は、再生可能資源としての利用はもちろんの事、水源涵養・治山治水、生物多様性の保全、景観レクリエーションなど、多岐にわたる機能を有している。

これらは伝統的な森林の機能だが、近年では地球環境問題、温暖化(猛暑、集中豪雨、竜巻などの多発)の深刻化から、CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)吸収源やエネルギー源としての役割が加わるなど、森林への期待はかつてないほど高まっています。

当地、養父市においても、人工林(スギ・ヒノキ)の総蓄積量は580万m<sup>3</sup>(東京ドーム約4・6杯分に相当)にまで達しており、その大半が31年生・55年生の林齢に成長しており、山は過密状態になっています。

すぐにでも大量の間伐(搬出)を行う事が急務となっており、作業の効率化など労働生産性の向上においても更なる路網(作業道・兵庫県の目標路網密度1ha当たり100m)の開設が喫緊の課題となっています。

今後は全ての事業の前提として森林経営計画の樹立が必要不可欠となります。組合員の皆様にご理解とご協力をお願いするところであります。

最後に、組合員の皆様に、今年度の配当が出来なかったこと、深くお詫び申し上げます。